

・ フランいぢめ：28スレ308から続き

気づけば、私は泣いていた。

泣きながら、日記のページをめくっていた。
何かの間違いだ、次のページには、「やーい、びっくりした？」とか、
そんな子供っぽいことがかかれたりすることを望みながら、
ページを捲っていく...ついに、あの本に書いてあった日付になった。
あの本に書かれていた日付を、次々に追っていく。

月 ×日

パチェが生まれたと言うので見に行ったら...私が行ったときには、
実験室は既に血の海と化していた。パチェが言うには、体が崩壊してしまったのだろう、
ということだった。実験の継続を頼み、部屋を後にした...
私の初めての妹は、生まれて一時間にも満たない命を散らしてしまった。
...これがあの子の運命だったというのだろうか、たとしたら残酷なことだ。
それを招いた本人が、言えることではないだろうが...

月 日

再び生まれたいので、様子を見に行ったら、今度はきちんと姿を保っていた。
私に似た蝙蝠の翼に、青い色の髪...成功したと思った。
だが彼女は、何を呼びかけても答えを返すことは無かった。
また失敗と言うことらしい。パチェは実験に使うとしたようだが...
なんとか頼み込んで、それはやめてもらった。
作ったとはいえ、文字通り血を分けた妹だ...実験材料にするのは忍びない。
かといって、置いておいて晒し者にするわけにも行かない...結局、私が自分でケリを付け、埋葬した。
...心臓を突き刺した感触が、今も手から離れない。
パチェは、作ったものを壊しただけ、気にするなと言うけれど、やはりそれは無理だ。
あの子は...生まれ方が少し違っただけで、確かに私の妹だったんだから。

×月 日

三人目が生まれた。今度はいい感じだ、きらきら輝く翼に、綺麗な金髪...
それに、私のことをお姉さまと呼び、なついてくれる...とても可愛い妹が出来た。
早速名前を与えて、一緒に生活することにする。
この子にとっては、私が唯一の肉親だ。これからは姉として威厳を見せつつ、
しっかりこの子を守ってやらないといけない、この子の姉二人のようなことは、もう御免だ。

咲夜達をどう誤魔化すかが悩みどころだけど...なんとかなるだろう。
パチェから、当初の目的を忘れてない？ って言われたけど...今はあの子が無事生まれたことが嬉しい。
それに、そういうパチェだって、顔を綻ばせていたくせに、素直じゃないんだから。

×月 ×日

あの子が、発狂した。何とか抑えようとしたけど、駄目だった。
暴れまわって、手がつけれず...また、私の手で殺した。
どうしてこうなってしまったのだろう。こんな運命、見えなかったのに。

最後に、あの子は...どんな感情を湛えていたんだろう。
怒り？ 憎しみ？ 恨み？ 確かめるすべも無い。
せめて、あの子とすごした数日が、あの子にとって楽しいものだったことを、
祈るしかない...ごめんなさい...

パチェも、平静を装ってるけど、ずいぶん参っているようだった。
私にとって妹なら、直接作った彼女にとっては、娘のようなものだったのだから...
計画は続行するけれど...本当にこれでいいのだろうか。
何人も妹を殺してまで、コレは続けるべきなのだろうか...

月 日

四人目...見た目は三人目と変わらないが、記憶に変化を与えた。
今回の記憶は、生まれてすぐ地下室に幽閉されていた、と言うものだ。
そうすることで、記憶の矛盾が少なくなり、精神への負担も避けられる...らしい。
また、しばらくはその地下室で、パチェ管理の下生活させることにした。
生まれて早々、暗い記憶を背負わせてしまうことになるが...その分、外に出た後は、たくさん可愛がろう。
この子には、フランドールと名前を付けた。私の妹、フランドール・スカーレット...
今度こそ、健やかに育ちますように...

フラン「...」

そこに書かれていたのは、人形の記録などではない...妹を生み、殺し、心を痛めながらも、スカーレット家のため計画を続けた、レミリアの苦悩が書かれていた。ところどころ斑点のようにたわんでいるのは、きっと涙の跡なんだろう...

自分の血を分けた姉妹を殺す...どれほど辛かっただろう。それでもレミリアは希望を捨てず、私をこの世に生んでくれた。私は望まれてこの世に生まれてきて、愛されて育ってきた。生まれ方なんて関係ない...私は間違いなく、レミリア・スカーレットの妹なんだ。

そこからは、私も知っている記憶...スベカルールが採用されたこと、異変を起こして、巫女が乗り込んできたこと、私を外に出したこと...そんなことが書かれていた。

「フラン」

そんな時、背後から声...私が一番良く知ってる声でした

レミリア「ごめんなさい...今まで黙っていて、こんな形でしか知らせられなかった、臆病な私を許して頂戴」
フラン「知らせ...って...」
レミリア「私は運命を操れるのよ？ こうなることも見えていたの」
フラン「じゃあ...じゃあ何で！」
レミリア「運命を操って、ずっと知らないままにしておくことも出来た...けど、あえてそのままにしたの。なぜだか、わかる？」
フラン「何で...なんでよ...私があレを読んで、どれだけ、苦しかったか... どうして、何も知らないままにしてくれなかったの!？」
レミリア「...あなたの記憶は、作ったものよ、あなたはその記憶に基づいて行動し、感情を持ち、性格を形成した。...あなたと一緒に暮らして、笑顔を見て、困らされて、喧嘩をして...とても楽しかったわ。でも、心のどこかで、そう作ったものだからそうしているんじゃないかって感情は消えなかった」
フラン「...」
レミリア「確かめたかったの...あなたが自分の出自を知って、どう行動するか...今にして思えば、三番目のあの子は、それを知って、怒って、絶望して、あぁなってしまったのかもしれない...怖かったのよ。このまま誤魔化していたら、いつかあなたまで失ってしまうんじゃないかって...」
フラン「お姉さま...」
レミリア「まだ、私をお姉さまって、呼んでくれるの...？」
フラン「...お姉さまぁ！」

もうわけが分からなかった、私の出自、お姉さまの悩んでいたこと、さまざまなことを知って、混乱していた。でも、お姉さまの姿を見て、その言葉を聞いているうちに...私はお姉さまの胸に飛び込んでいた。色々な感情が湧き上がって、泣きじゃくる私を、お姉さまは受け止め、頭をなでてくれた。

フラン「お姉さま...お姉さま...ひぐっ...ぐす...」
レミリア「よしよし...」

今日もまた、一日が始まる。起きて、ご飯を食べて...何をしようか。本を探すのもいいし、弾幕の練習もいい。それとも、美鈴に遊んでもらおうか？ お姉さまと、私の姉達のお墓参りに行くのもいいかもしれない。

私は、フランドール・スカーレット。大体5歳くらい。紅魔館の主、吸血鬼レミリア・スカーレットの妹だ。

- これはいい解釈ですね、感動しました。以前から公式のフランの年齢と幽閉期間が微妙に辻褄が合わない気がしてましたが、この解釈はしっくりきますね。 -- 名無しさん (2009-09-21 20:33:41)
- 5歳のフランちゃんとか...GJ! -- 名無しさん (2009-10-11 11:37:32)
- 最後のほうで思わずうんでしまいました。良い解釈の仕方で、いじめぬだという事も関係なく読みいれました。フランドール、五歳。幸せでいて欲しいものです。 -- 名無しさん (2009-10-17 23:46:53)
- 四人目というのが意味深ですね。フランの例のスペカは、今は亡き他の妹達の残滓なのかもしれません。悲しくも優しい話でした。すばらしい。 -- 名無しさん (2009-10-24 21:08:19)
- 確かにフォーオブアカインドのことを考えるとこれは深いな -- 名無しさん (2009-11-23 05:05:49)
- フランの名前の意味は「Frankenstein's doll」だったのかも。 -- 名無しさん (2010-02-26 05:51:57)
- これはいい -- 名無しさん (2010-02-28 00:00:44)
- なにこれすごい -- 名無しさん (2010-03-05 16:38:04)
- フラン、ツライだろうね、でもレミリアのほうがかもっとツライとおもうよ。でも、レミリアの妹として存在してるのに変わりないから、がんばって -- 壊れかけている生き物 (2010-03-10 02:10:25)

- あう、フラーンお前悲し過ぎるよ！ 世の中には知らない方がいい事もある。レミリアなんかめっちゃ優しい。まじお母さんみたい。あったかい存在てきな。

-- 名無しさん (2010-03-10 16:22:29)

- なんだこれやべえ

素で涙ぐんでしまった -- 名無しさん (2010-03-15 19:50:47)

- ウホッ、いい話。 -- 名無しさん (2010-04-01 17:35:42)

- 最早いじめではなく感動モノ...だが素晴らしいの一言に尽きる。 -- 名無しさん (2010-10-26 22:07:29)

- 壊れかけている生き物さんへ

同感です

-- 名無しさん (2010-10-27 09:49:23)

- やばい泣ける -- 名無しさん (2011-06-14 20:52:40)

- 俺はいじめを見に来たはずなのに...畜生姉妹共々幸せになれ -- 名無しさん (2011-11-06 23:03:59)

- 時々いじめじゃないから困るw -- 名無しさん (2011-11-12 05:49:32)

- この解釈はとて素敵です!感動しました! -- 名無しさん (2012-04-16 02:46:14)

名前:

コメント:

投稿